

スクールミッション

通信制の基本理念である「自学自習」について理解を深めるなどの教育活動を通じて、個性と豊かな創造力の伸長と社会性と使命感の涵養を図り、目的意識と職業観を持った、よりよい社会や幸福な人生を切り拓く、自立した人間を育成します。

スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

学んだ知識・技能や見方・考え方を活用して、日常生活や社会生活の中で実践的に思考力・判断力・表現力を発揮することができる資質・能力の育成。

(2) カリキュラム・ポリシー

- ・ICT化に伴う電子レポートを通じて、学びたい内容の充実化を図り、いつでも学べる学習環境の確保と保障
- ・「ポートフォリオ（キャリアパスポート）」と「担任によるコーチング」、「学校・自己評価アンケート」の共同設計による自己理解・自己実現教育
- ・個人の価値観重視のキャリア観醸成を目的とした（卒業後の進路に執着しない）キャリア教育
- ・批判的思考力と観点概念判断力、論理的表現力、情緒的表現力の育成

(3) アドミッション・ポリシー

本校の期待する生徒の姿

- 1 通信制の特色である自学自習を計画的に進め、単位修得に向けて意欲的に学習する生徒
- 2 常に課題意識をもって、自主的に学習に取り組むことができる生徒
- 3 卒業を目指し、本校で学習したいと思う生徒

単位制・無学年制・通信制の良さを生かし、「自己管理能力」を育み、個々の生活スタイルや学習ペースに合わせ、レポート作成で自学自習の習慣を身に付けさせ、スクーリングに出席させ、進路実現を支える通信制高校を目指す。

- ① レポート作成による自宅学習、スクーリングによる登校指導等の従前からの指導に加えて、「都立通信制高校運営総合情報システム」を活用し、自宅PCのほか、移動中にタブレットやスマートフォンからシステムにアクセスすることで、学習機会や学習方法の多様化に対応する。
- ② 生徒の実態に応じ、基礎的基本的な知識・技能を習得させるとともに、生徒間の学力差に対応するため、民間コンテンツを活用し、動画視聴等を含むe-learningによる自宅学習を促進し、必要に応じて反復学習を行う。
- ③ 生徒・保護者ニーズを踏まえたシステムによるスケジュールのガイドや、履修・学習状況の把握・管理により、学習意欲の向上や自学自習を支援していく。
- ④ 質問や相談履歴を蓄積することにより、生徒支援体制を推進していく。
- ⑤ 都教育委員会と協働し、「新たな教育のスタイル」に係る実証を行っていく。以下の表に示した取組を行っていく。

「新たな教育のスタイル」	
コース名	部門名
探究コース	① 探究
	② デジタルイラスト
DXコース	③ プログラミング習得
	④ ITパスポート取得対策
	⑤ DX建築
グローバル人材育成	⑥ 英検対策
	⑦ 異文化理解（フランス語）
発展	⑧ 情報学探究コンテスト
	⑨ PC甲子園トレーニング
スタディプラス	スタディプラス
教材開発	生成AI
	アントレプレナーシップ

目指す学校

	目 標	方 策
中期的目標と方策	①大学等への進学を叶える通信制高校として、生徒の学習活動を支援する。	進学意欲のある生徒に対して、積極的な学習指導・進路指導ができるよう、各教科・担任・進路指導部等が連携する。
	②基礎的基本的な知識・技能の定着をもとに、進路実現のため学力を向上させる。	スクーリング(面接授業)で教員・生徒間等のやりとりも行き、思考力・判断力・表現力・社会性を身に付けさせる。
	③単位の履修・修得率を高める。「都立通信制高校運営総合情報システム」を有効に活用し、レポート提出やスクーリング等でICTの活用を推進していく。	粘り強くスクーリング出席・レポート提出を促し、レポート添削指導をきめ細かく行い、スクーリング規定数到達率・レポート提出率を高める。電子レポートの活用を推進していく。

④進路ガイダンス機能の充実を図り、生徒一人一人に応じた進路選択ができるようにする。	進路指導部担任が連携を密にし、面談やホームルーム等とおして担任等が指導を進め、生徒の自己実現を支援し、進路行事等を活用し進路を選択する力を育てる。
⑤通信制高校の課題を分析し、改善案を提案し、「高校校教育のセフティーネット」としての公立通信制高校の役割を、誇りをもって担う。	全国に先駆け取組を行う通信制高校として、都が示す方針に従い転編入学募集の応募条件緩和、履修・修得率の向上などの改善を行い、本校の取組を他の通信制高校に発信する。
⑥学校保健計画・学校安全計画や普段の指導により、人権教育、心身の健康づくり、生命の尊さの指導をすすめ、安全・安心・事故防止等に努める。	健康講話・セフティー教室等の機会をおして生命尊重、人権尊重を徹底するとともに、情報交換会、救護・対応方法の研修等をおして、安全・安心・事故防止等を行う。
⑦行事や部活動への参加を促し、自主性や社会性を育て、自信をもって学校生活に臨めるようにする。	行事への参加、部活動加入を奨励し、学校への帰属意識が高まるよう指導する。
⑧校内外の研修を積極的に活用して教員の資質向上に努め、生徒による授業評価や学校評価をおして授業改善に取り組む。	校内研修や校外での研修に参加し、教育専門職としての資質を高める。また、生徒による授業評価や学校評価を参考にし、資質向上を図る。
⑨公立通信制課程設置の背景と趣旨に鑑み、本校で学ぶ意欲のある生徒を求め、生徒募集等の広報活動を進め、地域から評価される学校であり続ける。	全教員で生徒募集等の広報活動を積極的に行う。また、地域の関係施設・団体等とも連携を図りながら、ボランティアや地域交流・地域連携をおして異年齢交流を推進する。

令和8年度の取組目標と方策			
柱	教育活動の目標と方策	重点目標と方策	数値目標等
学 習 指 導	授業力の向上 教員・生徒間、生徒同士のやりとり、レポート・学習書・学習プリントの活用等をおし、生徒に学習への関心・意欲・思考力・判断力・表現力、社会性を育て、アクティブラーニングの実践に努める。	○特に不登校経験者の多い本校で、授業研究、校内研修を行い、授業でのやりとりやペアワーク等を行い、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、社会性を身に着けさせるスクーリングを行なう。 ○ICT機器の更新・増設を受け、各課程・教科に配分して有効活用する。	★教員相互の授業見学を全教員で年2回行う。 ★本校で行う若手研、教師道場、開発委員等の研究授業を参観し授業改善に資する。 ★先進的な授業、要配慮生徒に配慮した授業に取り組み、学校経営支援センター相互授業見学データベースも活用して授業を公開する。
	履修・修得率向上 生徒の個々の状況に応じて、年間をおして最後の最後まで生徒に学習をあきらめさせず、個々に単位の履修・修得等の支援を行う。	○学習状況通知、定期考査後や日常的な面談・電話相談等をおし、学習・生活状況を生徒や保護者等に知らせ、全生徒の単位の履修・修得率を高める。 ○「スクーリングかわら版」、毎月「山吹通信」を発行する。	★年間をおして、生徒の個々の状況に応じ、保護者等に連絡するなどして、スクーリングへの出席を促し、スクーリング規定数到達率を高め、単位修得率を70%以上にする。 ★隔週水曜日に「スクーリング個別指導」を行い、何らかの理由で土曜スクーリングに出席できない者を指導しスクーリングに慣れさせる取組を行う。
	生徒による授業評価 教員の資質を向上させ、生徒の授業満足度を向上させる。	○“生徒による授業評価”を年2回実施し、結果を全教員で共有し研修を行う。	★授業満足度95% ★“学校評価アンケート(生徒)”回収率30%以上
	新たな教育のスタイル 都教育委員会施策「新たな教育のスタイル」の役割を担い、「生成AI」、「アントレプレナーシップ」等	○都教委、メーカーと協働し、「生成AI」、「アントレプレナーシップ」に続き、5科目の教材を開発する。 ○8年度「生涯学習講座」として実施する。	○12月の履修仮登録時に、それぞれ10名程度の履修希望者を確保する。
	人間と社会 生徒の活躍の場を広げ、共生社会実現・インクルーシブ教育推進を図る。「人間と社会」のうち4単元を実施する。		★「人間と社会」では、地域清掃のほか、様々な体験活動を行う。
	読書推進活動 司書教諭を中心に、業務委託による図書館運営を行う。	○図書館開館日を工夫し、利用率向上を図る。読書習慣を身に付けさせ、言語能力を高め、読書率を高める。	★ビブリオ委員会で書評合戦参加者を支援する。 ★図書室や自習室の活用を更に推進する。 ★全校年間貸出6500冊(延3800名)
個人情報 成績等の個人情報の管理の徹底と作成の効率化を進める。	○保有個人情報の紛失・誤廃棄を防ぐ。 ○答案・レポート等の管理を徹底する。 ○成績資料等は複数で点検し作成する。	★答案、個人情報等の紛失・誤廃棄を防止するため、答案管理、紛失防止策の実行を徹底する。	
生活指導 生徒の「自己管理能力」を高められるよう、担任・教科担当・生活指導部等からの指導を徹底する。 時間を意識して行動するなど、都立高校生活指導指針に基づき指導を行う。	○都立高校生活指導指針、特別指導の指導計画等に基づき、課題のある生徒に即応し、必要な場合は特別指導や懲戒を行う。 ○地域・保護者・関係機関と連携し、年2回及び随時、学校サポートチームを開催する。	★職員室やエントランスで、生徒に声をかけ、生徒の意欲を向上させる。 ★SNSでの誹謗中傷を許さない心を育てる。 ★生徒会が、SNS学校マナーに取り組む。 ★いじめ防止委員会が年3回アンケートを行い対応の概要を生徒に周知する。	

	健全育成	生徒の健全育成に向けた取組みを推進し、特別支援が必要な場合、全員で対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路指導部・担任・生活指導部・保健室・関係諸機関との連携を図り、配慮すべき生徒の対応を行う。 ○ 暴力、器物損壊等には、毅然と対応する。いじめの未然防止等に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ カウンセラー、キャリアカウンセラー、ユースソーシャルワーカーと生活指導部・担任との連携を進め、生徒を支援する。 ★ カウンセラー・ユースソーシャルワーカーによる新入生全員面談、教員研修を行う。 ★ セイフティー教室を年3回実施する。 ★ カウンセリング手法、相談記録活用を進める。
特別活動・部活動	社会性・自主性の育成	山吹祭(定通合同文化祭)等の行事、学校での発表、部活動、地域貢献・地域交流、等とおし、仲間をつくり、地域と関わり、ルールやマナーを学ぶ機会を得る。 体力や気力を高め、全国大会、都大会、定通芸術祭等で活躍する部活を応援する。また、日頃から、校内、学校周辺に生徒作品を展示し、温かい学校づくりを進める。		<ul style="list-style-type: none"> ★ 地域防災訓練等の地域行事に協力し、地域貢献、居場所づくりを促進する。 ★ 部活加入を奨励し、加入率25%を目指す。 ★ 「その怒り、6秒待つ」をスローガンにアンガーコントロールを身に付けさせ、体罰・生徒間暴力などの否定に取り組む。
健康づくり	学校保健計画	学校保健計画に基づき、生徒の健康づくりを計画的に推進する。校医を迎え、学校保健委員会を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の心身の健康の課題を把握し、関係諸機関との連携を図る。 ○ 明るさと潤いのある校内環境の整備を行う。 ○ ゴミの分別を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 健康診断受診率60%。 ★ 進路指導部・担任・生活指導部等が、研究機関、警察、児童相談所、子ども家庭支援センター、病院等と随時連携する。 ★ 施設検討委員会で、将来計画を立案する。
	健康講話	心身の健康の意識啓発を行う。	○ 生徒の健全育成のための健康講話等に参加する。	★ 健康講話は、生徒アンケートに基づき集中講話を実施する。
	家庭連携	健康で安全な生活を支援する。	○ 生徒の健康について、家庭との連携を進める。	★ 担任・保健室が連携し、保護者や山吹会との連携を図る。
進路指導	進路決定者の増加	生徒に自己理解を促して、生徒の可能性を発見し、主体的に進路を選択するよう進路指導の充実を図る。 個々の生徒のニーズに応じた補習・講習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業生数増加を目指す。 ○ 卒業生を囲む会、進路講演会・相談会、大学・会社訪問等を計画的に参加・実施する。 ○ 希望者に校外模試を紹介する。 ○ センター試験の受験を奨励する。 ○ キャリア教育の全体構想を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 卒業生 125名以上 ★ 大学進学率 30%以上 ★ 進路未定率 20%以下 ★ 高認・既卒者の進路状況を把握する。 ★ 高認での大学受験を支援する。 ★ 新宿若者総合支援センター等と連携する。 ★ センター試験出願者数60名以上
募集・広報活動	本校の特性の理解推進	本校主催学校説明会、地域や都教委主催の合同説明会等に参加し、本校通信制の特色についての広報活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページを積極的に活用して情報発信を行う。 ○ 学校案内の工夫改善を進める。 ○ 定通併修、他校生併修を実施する。 ○ 11月と3月に学校説明会を行う。 ○ 30周年記念事業により、本校の存在意義の理解を広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 本校を目指す生徒や在校生に情報伝達するため、ホームページやYouTubeを活用する。 ★ 個別相談会(11月)の参加者110世帯以上 ★ 学校説明会(3月)の参加者180世帯以上。
経営企画室の経営体制	学校経営	学校経営計画の実現と円滑な学校運営ができるよう、企画調整会議を中心に様々な取組みを実施する。		<ul style="list-style-type: none"> ★ イクボス宣言を行う。退勤時間把握を行う。 ★ 年間5日の学校閉庁日を周知し、緊急時の連絡には学校専用携帯電話を活用する。
	安全管理	安全管理を推進する。	○ 安全管理の一環として、外来者、教職員の明確化を図る。	★ 教職員は、苗付きネームタグを着用する。外来者・卒業生に、ネームタグ着用を促す。
	経営企画室の経営体制	経営企画室の下に、事務処理を効率的に実施する。自律経営推進予算では、特に一般需用費でセンター利用率・執行率を高める。 経営企画室が、学校経営に参画する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営企画室が、校内分掌・委員会に関わり、経営に参画する。 ○ トイレの様式化を推進する。 ○ エレベータの安全運行を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 一般需用費センター利用率50%以上 ★ 全予算執行率99%以上 ★ 経営企画室が、学校保健、防災教育推進、施設検討、補助金審査、入試選考、ICT、図書館運営等の委員会に参画する。